



陸上自衛隊 三軒屋駐屯地

三軒屋

第51号

発行所
三軒屋駐屯地協力会
三軒屋駐屯地OB会

新年のご挨拶

三軒屋駐屯地司令
2等陸佐 石嶋 孝至



新年あけましておめでとう
ございます。謹んで新年のお
慶びを申し上げます。

昨年を振り返りますと、新
型コロナウイルス感染症によ
る制約を受けていた駐屯地諸
行事を4年ぶりに復活させ、
4月に観桜会、8月に合同盆
踊り大会、10月に駐屯地創立
記念行事を開催でき、地域の
皆様方との触れ合いができた
1年でした。また、駐屯地協
力会、駐屯地OB会、各協力
団体等によるご協力、駐屯部
隊各隊員の活動により駐屯地
を運営することができまし
た。この場を借りて改めて感
謝申し上げます。



本年もロシアによるウクラ
イナ侵攻の他、日本周辺での
中国、北朝鮮の活動等、緊迫
した情勢は継続しており、
これに対処するため防衛省と
して防衛力整備が急速に進め
られるとともに、部隊は想定
される事態に備えて日々の
訓練・業務に励んでいます。
また、国内では令和6年能登
半島地震の発災に伴い、駐屯
各部隊から人員が派遣される
とともに、必要な補給品の支
援を実施しています。

国内外での各種事態に対応
する部隊の活動基盤となるの
が駐屯地であり、そのための
諸施設や業務等をより一層充
実させていきたいと考えてい
ます。また、地域の皆様にとっ
てより親しみのある駐屯地と
なるよう努力してまいります。
今年が皆様にとって幸多い
年であることを祈念して新年
のご挨拶とさせていただきます。

三軒屋駐屯地協力会
会長 長峰 襄



明けましておめでとうござ
います。

皆様におかれましてはつつ
がなく新年を迎えられたもの
と存じます。

しかしながら本年は誠に波
乱の年明けとなりました。元
日早々、マグニチュード7.6・
最大震度7の能登半島地震
が発生し、津波、火災も併発
して石川県を中心として大き
な被害が発生し、更に、翌
2日には羽田空港で被災地へ
救援物資を輸送しようとして
いた海上保安庁の航空機が
日本航空の旅客機と衝突炎上
するという悲惨な事故が発生
しました。

お亡くなりになった方々の
ご冥福をお祈りすると共に、
被災された皆様に心よりお見
舞い申し上げます。

此度の災害に際し発災の
20分後には千歳基地と新田原
基地からF-15がそれぞれ
2機、築地基地からF22機が
現地上空に飛来し、同じく
百里基地からは125A捜索
救難機1機が出勤し偵察飛行

が始められています。陸海
空自衛隊は平成25年に制定
された「ファースト・フォース」
という初動対処部隊(12個部
隊)が直ちに移動を開始しま
した。三軒屋駐屯地からも
(三軒屋支処10名・305施
設隊1名・直支隊3名・警務
隊1名)の隊員が派遣されて
おります(1月16日現在)。
任務を完遂し無事帰隊される
ことを願ってやみません。

近年は記録的な自然災害が
頻発しております。私たちが
普段の備えを心掛けたいもの
です。

一方、国外に目をやると、
ロシアのウクライナ侵攻は
長期化し、イスラエルとハマ
スの戦いにイラクが関わりと
いう極めて緊張した状況に
なっています。

また、中国はこの世界情勢
を巧みに捉え自国の覇権を
拡大させ、利害を共有する
ロシア・北朝鮮を加えて東南
アジア地域におけるパワーバ
ランスを変えつつあります。
これは我が国にとっても切実
な懸念材料となっております。

今日、様々な情報が入り乱
れ飛び交いその虚実を選択す
ることは易しいことではあり
ませんが、自らの行動を通し
て実態を知り現実を見る努力
をすることが事実にとどり着
く方法でありましょう。

三軒屋駐屯地協力会はこれ
からも微力ながら自衛隊を応
援し、三軒屋駐屯地に駐屯す
る部隊を支援していきます。
最後に、自衛隊員が入隊す
る時必ず行う宣誓の一部を紹
介します。国家公務員、地方
公務員も宣誓はしますがこの
文言が入っているのは自衛隊
だけなのです。

「...事に臨んでは危険を顧み
ず、身をもって責務の完遂に
努め、もって国民の負託にこ
たえることを誓います」

今、自衛隊は国内外の困難
な状況の中で、国民の生命財
産を守るため全国各地で活躍
中です。

新年明けましておめでとう
ございます。

令和6年の新しい年を迎え
られ謹んでお慶びを申し上げ
ます。

コロナウイルスもまだまだ
くすぶり続けているのが現状
で引き続き気を緩めることな
く基本的な防衛策を各々講じ
ていく事が寛容かと考えます。

三軒屋駐屯地OB会
会長 長川 良成



そんな中、昨年は4年ぶりに一般開放した駐屯地記念行事が行われました。記念祝賀会も、懐かしい顔がありお初の顔もありと以前通り盛会に実施することが出来ました。これも皆様のご支援の賜であり隊員の方々のご苦勞あつての事で深く感謝いたします。OBの方々も多数のご参加を頂きました。

この様な節目にしっかりと顔を出すことが駐屯地隊員の皆さんの力添えになることを忘れてはいけません。目を国際情勢に転じるとロシア・ウクライナ戦争が長期化している中イスラエルとハマスの間の紛争が新たに発生しました。中東での紛争が拡大・長期化するればするほどこの戦争と相まって我が国周辺にも波及する蓋然性がより高まってくる。ことが懸念されますが、我が国を守るという任務は揺らぐことはなくOBもその精神は現役隊員と何ら変わりありません。これからも出来る限りの支援をして参る所存です。最後になりましたが、皆様方のご健勝とご多幸を祈念し新年のご挨拶といたします。本年も宜しくお願いたします。



部隊長から新年のご挨拶

第305施設隊長
2等陸佐 山下 秀寿



新年明けましておめでとうございませう。皆様におかれましては、つつがなく新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

小職につきましては昨年3月に着任し、早年を迎えようとしております。歳を重ねるたびに月日の流れが早くなっているように感じますが、それだけ充実した日々を過ごしていただいているものと感謝申し上げます。

さて、報道等でご承知の通り、ウクライナやイスラエルの情勢、地球温暖化による異常気象の発生等、我々を取り巻く環境は混迷を極めており、より一層緊張感を持って日々任務に当たらなければならぬものと痛感しております。また、今年には第305施設隊創隊25周年の節目となる年もあります。

これまでと同様、自然災害を含むあらゆる事態に即時対応し得る精強な部隊の育成に邁進する所存であり、また、変わらぬ暖かなご支援、ご協力を賜りますようよろしくお願申し上げます。

第104施設直接支援大隊

第2直接支援隊長

1等陸尉 久保 寿幸



新年あけましておめでとうございませう。旧年中は世界情勢の変化と激動、日本経済の流転等により大変せわしない年を過ごされたと思っております。

また、旧年には隊の検閲受閲に際し、手厚い支援と急な調整にご協力を頂きました。駐屯地司令をはじめ駐屯地所在の皆様には大変御礼申し上げます。

本年は旧年に比し更なる支援態勢の盤石化を念頭に、使用される皆様の期待に充分に応えられるマルチロールな

整備部隊を目指して整備と訓練の2軸の練成に努めて任務に邁進していく所存であり、引き続きご理解とご協力いただければ幸いに存じます。

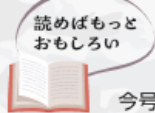
第132地区警務隊
三軒屋連絡班長

2等陸尉 横山 真



新年明けましておめでとうございます。一昨年に引き続き、昨年中も警務隊に対する様々な御支援・御協力誠にありがとうございました。コロナによる制限も撤廃されて各種行事等が復活し、警務支援の機会も多くなる本年も、防犯及び交通統制等各種支援を通じて駐屯地や隊員の方々、そして我々を支えて下さる地元の人々に貢献できるような、日々尽力してまいりますので、何卒宜しくお願い申し上げます。

自衛隊用語集



今号でも登場するちょっと気になる自衛隊用語を解説します。

けんさつ 検閲 (訓練検閲)

与えられた任務を遂行する能力が評価される場のこと。いわば、日々の訓練の集大成を示す場

りくそう 陸曹 (曹)

陸自内の階級区分。階級には大きく分けて、幹部・陸曹・陸士がある。陸曹は専門技能を有し、陸士を直接指導する立場にあり、部隊の中核を担う。

りくそうきょうい 陸曹教育隊 (略：陸教)

陸曹になる資格を持つ隊員たちが、陸曹になるために必要な資質を養うための学校のようなもの。カリキュラムは過密かつ濃密

3曹へ昇任して



施設隊 3等陸曹 端迫 駿汰

一月一日付を持って3等陸曹に昇任することが出来ました。今現在を振り返ると、昨年の8月に一次試験を受験し、陸曹候補生に指定されてからは、多くの経験をさせてもらいました。また、その中で「目標に向けて本気で努力することの大切さ」という自分にとって掛け替えのないものを手に入れたと思っています。部隊長をはじめ、諸先輩、同期や後輩、そして第四陸曹教育隊（以下陸教）の教官、助教の御指導や出会いも大切な宝物であり心から感謝しています。

一月一日付をもって3曹に昇任することができました。私が昇任できたのは、部隊の方々の指導と支えがあったおかげだと思っています。本当にありがとうございます。これから陸曹としてスタートしますが、3曹になるということは、専門分野の特技を有するほか、後輩の育成、指導をしないといけない立場になります。だから今以上に自分で考えて行動しないといけません。が、今の私では知識や経験がたりていない部分があると思います。しかし日頃から後輩や先輩の考えを理解して、「俺を見よ、俺に続け！」の精神で積極果敢に取り組んでいきたいと思っています。



処 陸曹 支 3等 近間 稔央

て未熟な部分があり、多くの失敗をすることが予想されますが、それらを糧として、自ら学び精進していきます。また、これまで得た知識や経験を活かし、部隊はもとより自衛隊に貢献できるよう全力で頑張っていきます。

そして陸教で学んだことを無駄にせず、部隊に恩返ししていきたいと思っています。おり、今まで以上に会計科として、各部隊を支援できるよう万全な準備をして信頼される陸曹になりますので、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしく願います。



<直支隊>大隊訓練検閲 11月20日～29日



<施設隊>団訓練検閲 11月20日～29日



<年末行事>12月20日



抽選会にて、見事OB会長賞を引き当てた隊員

協力会員の寄稿



協力会 顧問 庄 公壽

今年にはコロナ以来4年振りの合同盆踊りが好天に恵まれ、各担当者皆々さんのお陰で盛大に行われました。

隊員諸兄と家族、そして近隣町内会の皆さんで総数1000名を越えて楽しみました。

古来から盆踊りは各家庭の御先祖様や縁とゆかりの在った諸精霊を讃えて行われてきました。今年の合同盆踊りにも、4年振りでしたが例年と同じ様に数多くの精霊が集われ、参加された皆さんと一緒に楽しんで踊って居



丸い光のように見えるのが精霊

られました。2008年以降毎年、盆踊りに参加された皆さんと精霊の皆さんは凄いな数で集まり楽しまれ、そして盆踊りの終わる頃、精霊の皆さんもお帰りに成られていました。今年の盆踊りも各家庭の諸精霊様と和やむ時が持てましたね。来年も恙無く盛大に行われます事を期待して居ります。

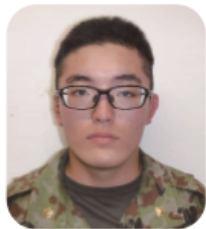


時間の経過とともに増えていくオーブ。降り落ちる雪のようだ。



支 処 曹 陸 3等 陸 曹 葉月 諤問

皆様、新年明けましておめでとございます。18歳で自衛隊に入隊し今年で6年目に突入しました。また、3等陸曹に昇任しちようど一年が経ちました。まだまだ未熟ですが、昇任し



支 直 曹 陸 3等 陸 曹 星乃 裕太

皆様、新年あけましておめでとございます。本年は辰年です。この辰という漢字はもともと振るうという字に由来して、大きなうねり新緑の成長、流動といった意味があるそうです。過去を遡ってみると64年の五輪開催、88年に瀬戸大橋の開業といった大々的な事業のあった年で、なにか大きな物事が始まっていく年と言えそうです。

てからの一年間で諸先輩方からたくさんさんのことを学び、大きく成長できたと自分自身感じております。辰年は、十二支の中で最も縁起の良い干支だと言われおり、様々な願い事を叶えてくれるだけでなく、あらゆる物事を良い方向へ導いてくれる力があるとされています。また、龍は「力強さ」や「成功」を象徴しており、新たな始まりやチャンスの年とされています。

過去の出来事を見ても大きな

自分にとっては人生で二度目、自衛隊人生初めての年男。24年間、ここまで怪我無くと言いたいところなのですが、実は昨年不注意から2度にわたり骨折を経験しています。今年も節目の年というところもありますがしかし、浮足立つことなくここはひとつ気を引き締めてかかりたいところです。

そこで本年の抱負は、新緑のように「折れず」、辰のように「柔軟に」過ごすことです。今年こそは大きな怪我無く1年を終えられるよう、また、部隊及び駐屯地の皆様の無病息災を願って自分の新年の抱負とさせていただきます。

な出来事が多く、動乱の年とも言われているそうです。なので今年には、新しいことに果敢に挑戦していきます。まだまだ若手なのでこの一年もガッツを活かして、率先して何事にも取り組んでいき、諸先輩方からたくさんさんのことを学び、また失敗することも恐れずに、どんどん新しいことを吸収していきたいと思えます。一年後に成長したと言われるように、邁進していきます。今後ともご指導よろしくお願いたします。

千両の置物「辰」



寄贈 協力会 黒澤 泉氏

元旦に発生した能登半島地震により被災された方々、関係者の方々に心よりお見舞い申し上げます。三軒屋駐屯地においても、国民の安心安全のため、多くの隊員が災害派遣活動に従事・支援しています。本年もよろしくお願いたします。